

教育委員会関連事務報告（8月報告）

令和8年9月1日

町人教 人権映画上映会 実施

令和8年8月1日（土）、木曽岬町民ホールにおいて人権映画上映会を実施した。

今年度は映画『ウィッシュ』を上映し、当日は、園児や児童、そのご家族を中心に98名の参加があった。上映会は、人権啓発をすすめる1つの機会とするとともに、子どもたちにとって夏の良い思い出となるように企画している。参加者の感想では、「自分の夢を大切にしようと思った」「自分がもっている夢だけでなく、周りの人の夢をかなえられるように努力したい」とか、「内容も分かりやすく、子ども向けの内容としてとてもよかった」というご意見をいただいた。

令和8年度 やろまい夏まつり 開催！

令和8年8月1日（土）、木曽岬町の夏の風物詩「やろまい夏まつり」が、役場前駐車場で盛大に開催された。こども園やスタジオダンススクール、木曽岬小学校2年生、木曽岬音頭・小唄保存会、シニアクラブによる踊り、太鼓やフラダンスの披露、弥富ウインドアンサンブルによる演奏など町内外の多くの団体に夏まつりを盛り上げていただいた。

また、中学校もブースを出し、生徒会執行部の皆さんがSDGsの取り組みとして、エコキャップ回収を行った。その他にも、美術ボランティア部の皆さんがボランティアスタッフとして会場設営等を行う等、主体的に町の行事に参画する機会とすることができた。

今年も「わいわい市場」と同時開催したことから、さまざまな種類のキッチンカーや雑貨の販売、ゲームコーナーなど幅広い種類の店舗が軒を並べ来場者を楽しませてくれた。そして、毎年大人気の菓子まきの時間になると、子どもから大人までやぐら周りに集まり、合図とともに舞い上がるお菓子の歓声が沸き起こり、お菓子を拾う子どもたちの笑顔が広場いっぱい広がった。

市町教育委員会教育委員等研修会に出席

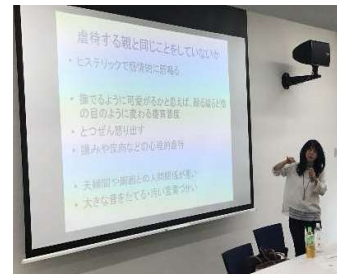
令和8年8月3日（月）に、四日市市総合会館を会場に、令和8年度市町教育委員会教育委員等研修会が開催された。本町からは、2名の教育委員と教育長、指導主事1名が出席した。

会では、まず菰野町の「中学校部活動のあり方を求めて」と志摩市の「不登校孤立ゼロと多様な居場所づくり」と題した取り組み発表があった。その後、中央教育審議会委員で、埼玉県戸田市教育長の戸ヶ崎勤氏による講演「次期学習指導要領を待たずに今からできること」と題した講演を聞いた。さらに、講演後は、戸ヶ崎教育長に質問する形で、座談会も行われた。教育委員会の活性化などについても、学びになる研修会であった。

木曽岬町夏季合同研修会 実施

令和8年8月4日（火）に、役場防災会議室において、令和8年度夏季合同研修会を実施した。

「愛着と発達に課題を抱えた子どもたちへの理解と支援」と題して、桃山学院大学の松久眞実教授を講師としてお招きし、子どもの発達を支える「愛着」の重要性について、理論的な裏付けをもとに解説された。特に、困り感を抱える子どもたちをいかに早期に察知し、心理的な安定を促す関わりを行うかについて、専門的な見解が示された。研修会は今日の教育課題に関わるものであり、参加者からも好評であった。



体育館 子ども開放日を実施

令和8年8月13日(木)～14日(金)、午後1時～午後4時、木曽岬町体育館で子ども開放日(試行)が行われた。これは、令和8年2月16日、小学6年生(現 中学1年生)を対象の「子ども議会」において、「夏休みの過ごし方について、屋内で遊べる場所をつくってほしい」との質問が出され、教育委員会としては、体を動かす機会として町体育館の一般開放日を夏季休業中のみ試行的に増やすこととしたためである。

初日である13日(木)は、中学生4人、小学生2人、保護者1人の7人が卓球、バドミントン、バレーボールを楽しまれた。2日目の14日(金)は、残念ながら利用者はなかった。

令和8年度 第1回木曽岬町社会教育委員会 開催

令和8年8月18日(火)の午後、役場4階防災多目的室にて開催した。概要は次のとおり。

- 委員の委嘱について
- 正・副委員長の選任について
- 木曽岬町教育委員会点検・評価報告書
(令和7年度事務事業分)について
- 社会体育施設及び学校施設のLED化について
- 文化資料館屋上防水及び外壁改修工事について
- 教育委員会主催イベントの企画審査について
- 令和9年度公民館講座の企画について
- 社会教育施策への意見について 等

小学生夏季学習会 開催

令和8年8月20日(木)・21日(金)・24日(月)・25日(火)・26日(水)の5日間、教育委員会主催による小学校夏季学習会を小学校にて開催した。小学校3～6年生に参加を募り、5日間でのべ120名を超える参加があった。学生ボランティアの方や地域指導者の方が学習支援を行った。参加者は、算数のプリントに取り組みながら、一生懸命学習に取り組むことができた。久しぶりに学校へ登校する子どもたちにとっては、新学期に向けて、学校生活のリズムを取り戻すのによい機会となった。



モハメド・マハディさんが優秀賞を受賞

令和8年8月22日(土)、伊勢市生涯学習センターにおいて、三重こどもわかもの育成財団等が主催する「第48回少年の主張・三重県大会 中学生のメッセージ2026」が開催され、本町から木曽岬中学校3年生のモハメド マハディさんが出場し、「空には境界線がない 二つの国を繋ぐ架け橋に」をテーマに発表され、見事「優秀賞」を受賞された。

この大会は、中学生が生き方や社会との関わりについて自らの意見を発表する機会として毎年開催されているもので、今回は、県内79校10,547人の作文が寄せられ、その中から選ばれた14人が発表を行い、この度の受賞となった。

「二十歳のつどい」第1回実行委員会を開催

令和8年8月23日(日)、「二十歳のつどい」第1回実行委員会を開催した。4人の実行委員の方々に集まっていただき、年明け1月9日(土)の「二十歳のつどい」に向けて、司会をしていただく

方などの役割分担を中心に話し合った。例年12月初旬には、町長、議長、教育長とともに、「二十歳のつどい実行委員と語る会」を開催しているが、そちらも例年通り行うこととなった。

昆虫標本づくり教室②を開催

令和8年8月23日(日)に、木曾岬子ども未来塾の体験学習として「こん虫標本づくり教室」の第1回7月25日に引き続き、第2回を開催した。

第2回では、前回採集し、乾燥させたセミやチョウ、トンボな

どの昆虫を使い、標本の仕上げや展示方法を

学んだ。細かな作業に苦戦しながらも、最後まで丁寧に取り組み、世界に一つだけの昆虫標本を完成させた。

完成した標本を見つめる児童からは、「きれいにできてうれしい」「自分で作った標本を部屋に飾りたい」といった喜びと感動の声が聞かれ、夏休みの貴重な体験となった。



キッズレクリエーション(運動会&モノ作り体験)を開催

令和8年8月29日(土)、木曾岬キッズレクリエーションクラブと町スポーツ協会が主催した『第7回キッズレクリエーション』が町体育館及びふれあいホールで開催された。

当事業は少子高齢化が進み、本町でも出生数が減少している中で子ども達の協調性や自主性を育むと共に、世代間や性別を超えた信頼関係を築き人格の成長やチームワーク力を向上させることを目的にした取り組みである。当日は木曾岬町や桑名市、弥富市などから103名の子ども達が参加し、運動会やモノ作り体験・バルーンアートショー・ビンゴ大会などを行った。モノ作り体験では「寄せ植え」に挑戦し、カウンセラーや高学年のお兄さんお姉さんに手伝ってもらいながら、個性あふれる世界に一つだけの寄せ植えを楽しそうに作っている姿が見られた。

昼食はカレーライスで、町内の(有)木曾岬農業センターより子ども達へ収穫したての新米(コシヒカリ)が提供され、何杯もおかわりする姿が見られた。

様々な体験を通じて、世代間や性別を超えて親睦を深めるなど非常に楽しい思い出を作ることが出来た。

